

令和6年度 第2回 市民活動支援センター運営委員会

	令和6年5月25日(土) 14時00分～16時00分							
会場	市民プラザあくろす フリースペースはばたき							
運営委員	会場	村上 むつ子	欠席	平澤 和哉	会場	横山 真理	会場	水田 征吾
	会場	石井 洋子	会場	毛利 勝	会場	小松 明日香	会場	原島 秀一
	欠席	安藤 雄太	欠席	阿部 秀樹	会場	浜本 正樹	会場	石正 房江
	会場	佐竹 澄子	会場	吉田 真也	欠席	松谷 知彦	会場	田村 敦史
	会場	ニンファ・ジャヤマーンナ						
事務局	橋本、北島、浅見、鈴木							

1 はじめに

配布資料確認

各委員より近況報告を行った。

《承認事項》 14:20～14:45 (25M)

2 令和5年度事業1報告(案)の承認

【事務局】事業報告の資料について事前に送付した(案)と大きな変更はなかった。令和5年度の振り返りは運営委員会で取り組んだことを中心に記載した。第1項目は、課題及び基本方針への対応は、様々な地域課題について話し合い、議論を重ね、1年を振り返った文章である。第2の重点項目の総括についても、運営委員会の会議の中で出ていたと思うが、5本の柱に対して、我々センター及び運営委員会がどう取り組んできたかを中心に振り返りをさせていただいた。基本的にはそのことを中心に据えて、事業の報告を描き切った形になっている。事業報告書についてご承認いただければ、現状の形で理事会に上げていきたいです。

3 資金収支決算報告(案)の承認

資金収支決算書について、センターの主な予算は、ボランティア活動推進事業と市民活動支援センター事業の2種からなっている。

細かい数字の説明は時間の都合で割愛するが、決算に至るまで、概ね予定通り執行できている。

委員へ共有させていただきたいことは2点あり、ボランティア活動推進事業の寄付金収入について、実績額が418,126円と書かれている。この金額の半分以上は調布チャリティーウオークの活動からの寄付で成り立っており、チャリティーウオークの寄付金収入は令和4年度と比較し増額している。

引き続き、自主財源の確保は市民活動支援センターの運営の中で大事なポイントになってくる。今後の運営委員会においても、皆さんと一緒に検討をさせていただきたい。

ボランティア活動推進事業において、予算に対して約98%の執行率であった。計画的に資金を使うことができたと思っている。

以上2点、ご承認いただけたらと思う。

【委員長】令和5年度事業報告、資金収支決算報告について、承認いただける方は挙手をお願いしたい。

事業報告（案）、資金収支決算報告（案）でご承認いただくことをご了解いただいた。

○今後の予定

- ・6/5（水）理事会
- ・6/20（木）評議委員会

≪協議事項≫14:45～15:25（40M）

4-⑦ 今期の各グループの取り組みについて

【委員長】続いて協議事項に移る。前回に続き、各グループで話を進めてほしい。

グループワークの後、各グループの発表、再度グループ協議を行いたい。今後の具体的なスケジュールなども出して欲しい。

●こどもグループ、50代グループ、高齢者グループに分かれ、話し合いをした。

《高齢者グループ》

演劇を通して孤立する高齢者を表現したいが、役者がいるわけではないので、演劇だけで1つのイベントを行うのは難しい。幕間で出番があるといい。えんがわフェスタをやるとしたら、商業感覚で合間に高齢者向けの演劇を入れてもらいたい。高齢者の抱える問題を取り入れると、子どもや50歳代のグループにおいても良い影響が想像できる。高齢者グループは単独でなく、他のグループに混ぜてもらい上手く入り込みながら、互いに引き立てられる関係性になれるといいと思う。演者として若者の力を借りることも検討中。例えばCAPSの中高生やその親御さん（50代）はどうか。若者を巻き込むことによって、色々な年齢層に興味を持ってもらえると思うし、交流が生まれるのも狙いだ。まだ想像上のことばかりだが、計画として、夏前までに企画を決定し、12月ころまでに仕上げるイメージ。

【委員長】何か質問やご意見はないか。

【委員】演劇者を募集するならば、せんがわ劇場などへ相談してみるのはいかがでしょうか。関わっている人がいる。聞いてみるができる。

【委員】良い方向でコラボできるといい、宜しく願いしたい。

【委員長】では次は50代グループの発表をお願いしたい。

《50代グループ》

これまでを踏まえて検討

・「豊かなセカンドライフを考える」ために、何かをしてというのではなく、知ってもらうことだけでもいい。

・市内企業や深大寺東町に新しくオープンする「深（じん）」へも訪問できるといい。

・スリランカの起業した方の話もいい。

起業した人に対してのイベントがある。そういうところへつなぐところできる。

・両方見学もいいのでは 6月こちらの都合を伝え、事務局を通じて日程調整中。

・地域に密着して仕事を起業した人の話、自分に身近に感じられる内容で、民間企業と一緒にできると良い。企業のためにもメリットはあるのではないか。特に、社員の気持ちを変えることは会社にとってもプラス。

・市内食品会社の社員が子ども食堂のイベントに自主的に参加している。

30~40代が多い。将来を考え、自己研鑽・啓発が動機の方も見える。今後はそうした企業も増えるのではないか。

・思っているがどうしていいか、どこへ行けばいいかわからない人が多い。

・モヤモヤと考えている人はいる。こうした方へ機会を提供することができればいい。

・地域デビュー委員会の方たちにお越しいただき、話を聞いてみるのも良いアイデアかもしれない。

・これまで話題に挙がった方 + 食品会社など生活に直結している企業や活動の方々と会って手法を考えては？

・スタートアップ＝「あなたにもできますよ」と思っていただけで嬉しい。

・これらをえんがわフェスタで形にできると良い。また、食べ物があると尚良い。地域活動「まごじば」をお呼びしてもいいのでは。

・去年のえんがわフェスタを含め、視野に入れていきたい。

・もやもやした方がターゲットだ。50代男性は伝わりやすいのかもしれない。先程高齢者グループから発表のあった演劇の内容には現実味も感じられる。

・社会問題とリンクさせながら、地元の企業とのつながりも考えていくことも必要だ。いずれにしても6月に向け、各企業とコミュニケーションを通して具体化していきたい

・企画概要

「えんがわフェスタ」

ターゲット：モヤモヤしている人

内容：地元の企業と連携

起業した人の話も聞ける

・内容について

→3回シリーズでなくても、1日で3つ実施するのも良いのでは？実施するにあたって、手法を具体的に
にしていく必要がある

→「食」の共通はあるが、子どもとモヤモヤ ✕

モヤモヤとシニア ○

→子どもをターゲットにすると40代の親も参加しやすく、好循環になるのではないかと。

共通は全員で、その後企画ごとに対象となる方でブースを分けて考えてもいい。

結論としては、子供、高齢者のグループとの企画の連携も可能

★その内容は「三匹の子ぶた」のストーリーになぞらえ、50代に向けた準備を啓発するストーリー仕
立てにするのも面白いのではないかと。

【委員長】質問や意見はないか。続いて子どもグループの発表へ。

《子どもグループ》

ターゲットは未就学児や小学生とその親御さんだ。食に関するテーマのイベントの話を進めて
いる。建付けとして、子ども達が3Fのキッチンで料理体験中、親御さん向けに、3Fのホールで食育に
関するセミナーを開催できたらいい。

グループワークの中で、調布の給食は凄いいという話が出た。栄養士の講話を聞いたり、家庭で食事を
作る際に、どのようなことを考えたらいいかなどを学べたらいい。加えて、企業との連携についても言
及した。

調布にある燃料会社がイベントを行っている。50代グループも食品会社との連携を考えられていた。
食事の支度ができなくなった高齢者は宅配の弁当を頼むことになる。50代もいつか宅配の弁当を食べ
るようになるだろう。3つのグループがつながれるような気がする。いずれにせよ、地元企業や栄養士
とのコネクションを知らないなので、つながりがつかめそうであればお願いしたい。

【委員長】食を接着剤として何かできる気がする。引き続き、もう一度グループの中で話し合っていた
だきたい。

更に短時間グループワーク時間を取り、内容のブラッシュアップを図った。

【事務局】居場所探訪プロジェクト（以下PJ）と調布サマーボランティアの報告

《報告事項》15:45～15:55（10M）

5 居場所探訪PJについて

【委員】報告だが、居場所探訪PJは、担当委員と事務局が温めてきた企画だが、実現に向けて一歩
進んだ。仙川POSTOの田中さんからご紹介いただいた東京都立大学の室田講師を招き、7月6日（土）に

令和6年度 第2回 市民活動支援センター運営委員会

居場所探訪プロジェクトの報告会を行う。また、担当委員の調整により、川の図書館、彩ステーション、仙川POSTOの3つの団体をゲストに迎えることになった。

当日に向けて、委員の皆さんに企画書を送った。当日のグループディスカッションではグループを10班作る予定だが、ファシリテーターの数が足りない。ご協力いただける委員の方がいたら、当日ファシリテーションをお願いしたい。

【委員】居場所探訪PJについては、今までも何度かご報告している。資料にある通りだが、3人のパネリストにお越しいただく。パネリストだけでなく、その居場所を利用している人にも参加していただけることになった。対談でも一人一人でもいい。また、講師は調布地域の居場所を経験しているため、まとめ役もお願いしている。とても楽しみだ。

【その他】 15:55~16:00 (5M)

6 調布サマーボランティアの進捗

【事務局】今年も夏休み企画としてサマーボランティアプログラムの準備をしている。体験を中心に約45のプログラムを進めている。内、14団体が新規団体。

今後のスケジュールとして6月21日(金)にプログラムの公開、6月29日(土)から申込を受付する。プログラムが決定したら、次回の委員会で報告する。

7 えんがわファンド公開プレゼンテーション

【事務局】6月1日(土)13時から18時まで、令和6年度えんがわファンド公開プレゼンテーションが行われる。15団体が、合計約128万円の助成を希望している。それに対し予算額は100万円だ。公開プレゼンテーションの会場は、3Fあくろすホール1・2で開催する。一般の方も傍聴できる。宜しくお願ひしたい。

【委員長】えんがわファンドのプレゼンテーションは初めてだ。皆さんも、団体の想いを知る場でもあるので、お越しいただきたい。その他、情報共有はないか。

8 今後の市民活動支援センター運営委員会の開催日時と議案について

- ・6月19日(水)18:30~20:30 第3回運営委員会
- ・7月20日(土)10:00~12:00 第4回運営委員会

【委員長】それでは今日の運営委員会は終了する。